

小千谷市3地区合同勉強会・報告会

# 住民自治の進化の第一歩は ワガゴト化と見える化から

2019.5.17



特定非営利活動法人  
都岐沙羅パートナーズセンター  
つきさら  
Iwafune, Niigata

理事・事務局長 斎藤 主税

1

## 新潟県村上地域

■構成市町村：村上市、関川村、粟島浦村  
■面積：1,483.71 平方キロメートル（新潟全体の 11.8%）  
■人口：68,644人（H27国勢調査）



面積は香川県の約8割に相当  
中山間地を含め330の集落が点在

2

### つきさら 都岐沙羅パートナーズセンターとは？

活動開始	平成11年6月1日
法人設立	平成14年3月1日
理事	9名
事務局	常勤3名、非常勤3名
会員数	正会員 37個人・団体 賛助会員 84個人・団体
主な活動	新潟県村上地域における中間支援活動
年間予算規模	約1,000~2,700万円 (H29決算：約2,300万円)

※行政からの運営費補助はゼロ  
※地方自治体からの委託事業が大半  
(ただし、半分以上がNPOからの提案事業)

- ◎地方自治法60周年記念総務大臣表彰受賞（2007）
- ◎平成26年度ふるさとづくり大賞・団体表彰受賞（2015）
- ◎第7回地域再生大賞・大賞受賞（2017）



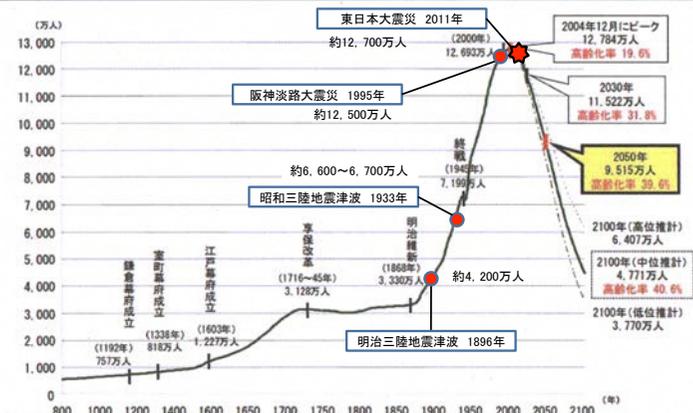
3

# これまでと これからは 違う

4

## 長期の人口推移

○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく可能性。この変化は千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。



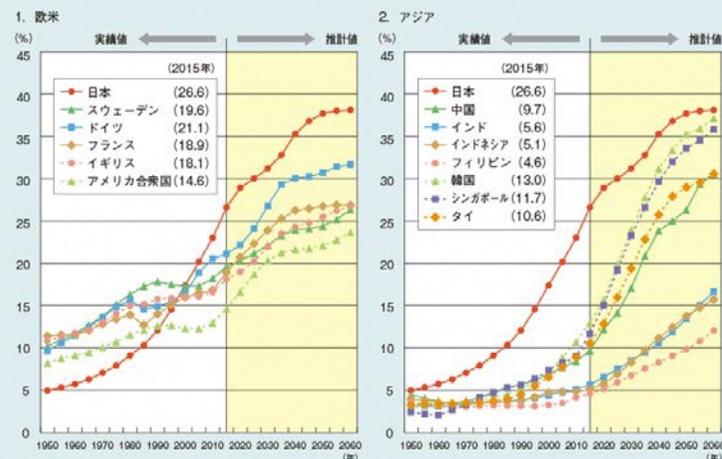
(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析(1974年)をもとに」、国土交通省国土計画局作成

資料：国土交通省作成資料

5

## 日本は世界で最も高い高齢化率！

図1-1-6 世界の高齢化率の推移



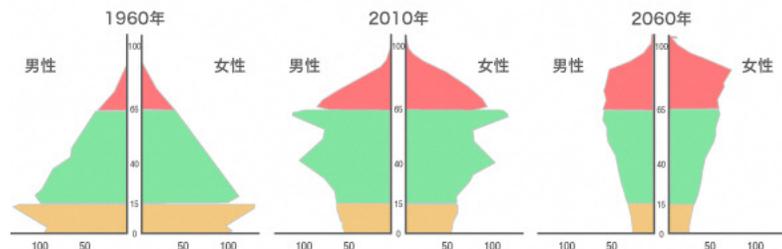
資料：UN, World Population Prospects: The 2017 Revision

ただし日本は、2015年までは総務省「国勢調査」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果による。

出典：平成30年版高齢社会白書

6

## 人口ピラミッドの変化



(注)縦軸は年齢、横軸は人口(単位:万人)。

(出典)1960年および2010年は総務省「国勢調査」、2060年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」の出生中位・死亡中位推計。

仮に、明日から出生率が2.xxになったとして、人口ピラミッドが1960年当時の状況に戻るの

➡ 約50年以上先

7

人口減少は避けられない現実



暮らしに大きく影響するのは  
**人口構成の変化**

8

数字の意味を知ると、見えてくるものが変わる

地域における年齢層・世代の意味

65歳以上 → 高齢者 でもお元気な方たくさん  
いらっっしゃいますよね？

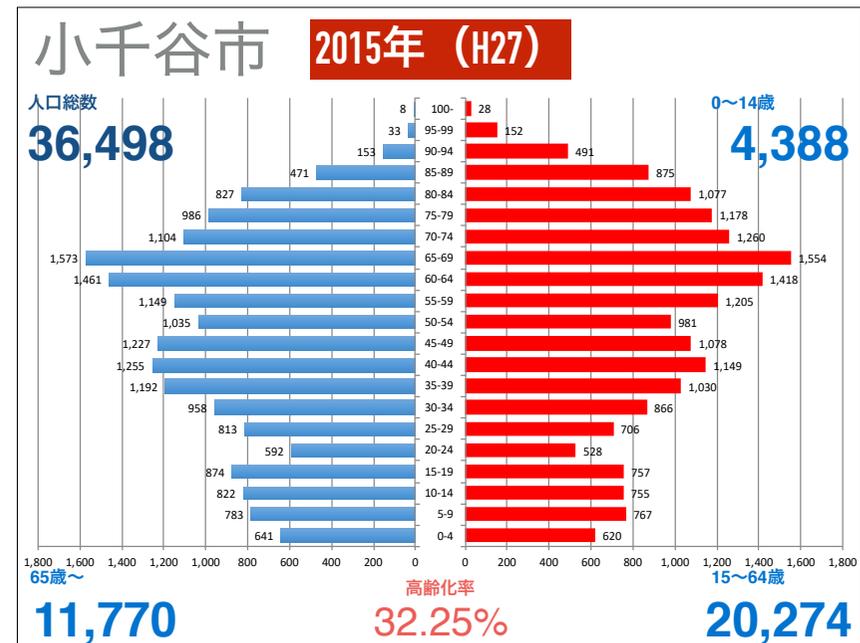
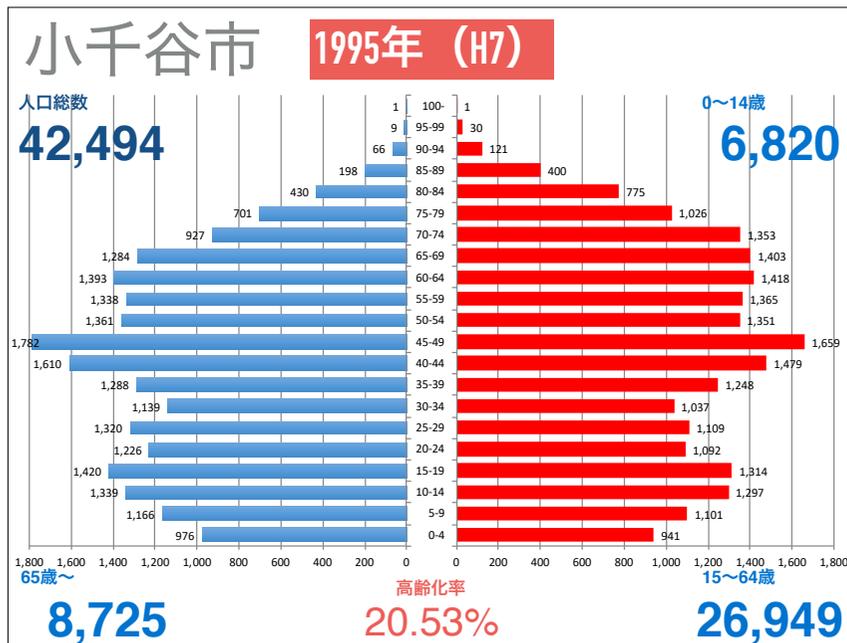
65~74歳 → **いま地域の住民自治を支えている世代**

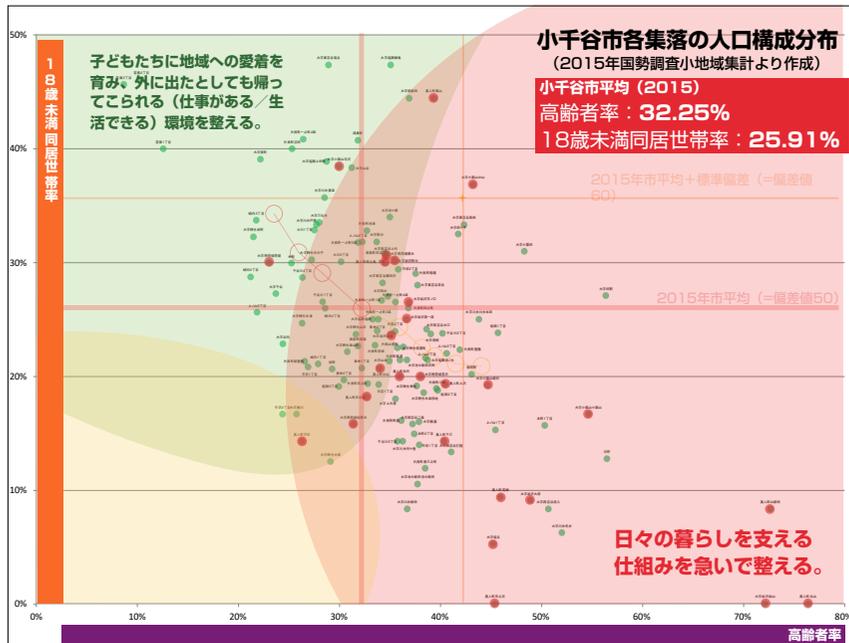
75歳以上 ..... → 地域を支える側から  
= 後期高齢者 **自らが支えられる側に**

85歳以上 ..... → **4人に1人が要介護3以上**  
※要介護3以上の2人に1人が85歳以上というデータも  
(国勢調査より既に明らかになっている事実)

小千谷市	各年の国勢調査データ			社人研予測	
	1995年	2005年	2015年	2025年	2035年
人口 (人)	42,494	39,956	36,498	32,106	27,445
0~14歳	6,820	5,405	4,388	3,278	2,517
15~64歳(A) (生産人口)	26,949	24,115	20,274	16,558	13,516
65歳~ (高齢者率)	8,725 20.53%	10,388 26.00%	11,770 32.25%	12,270 36.85%	11,412 41.58%
75歳~	3,758	5,397	6,279	7,285	7,502
85歳~(B)	826	1,510	2,211	2,559	3,199
※85歳以上の4人1人が要介護3以上/要介護3以上の2人に1人が85歳以上(国勢調査より)					
A÷B	32.6人	16.0人	9.2人	6.5人	4.2人

※2015年の高齢者率 新潟県平均：29.85% 全国平均：26.63%





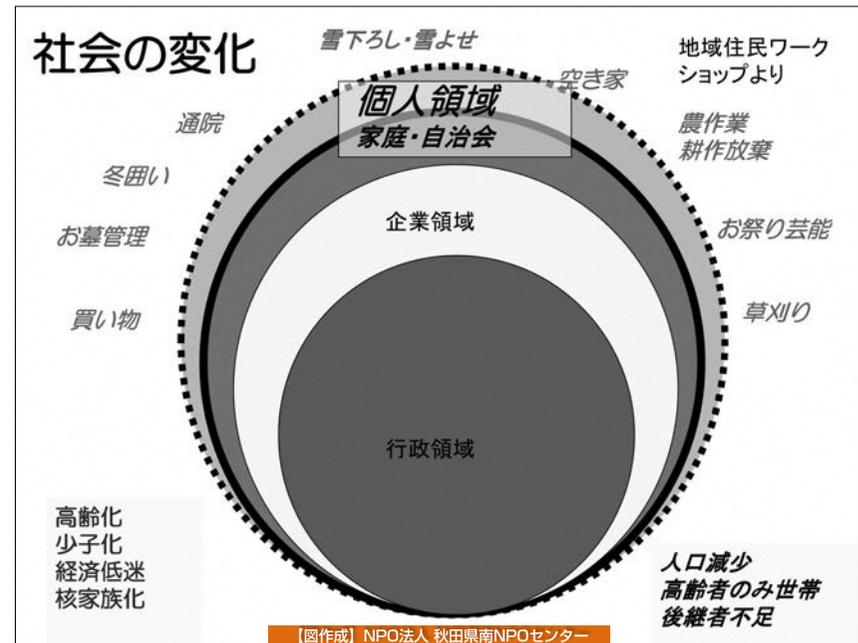
13

高齢者の状況							
小千谷市全体	各年国勢調査・実績値				推計値		
	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
高齢者数	9,812	10,388	10,935	11,770	11,984	11,545	10,728
高齢者率	23.6%	26.0%	28.3%	<b>32.3%</b>	35.3%	36.9%	37.4%
後期高齢者数	4,629	5,397	6,104	<b>6,279</b>	6,259	6,715	6,785
率(同)	11.1%	13.5%	15.8%	<b>17.2%</b>	18.4%	21.4%	23.7%
65-74歳	5,183	4,991	5,491	<b>5,491</b>	5,724	4,830	3,943
率(同)	12.5%	12.5%	14.2%	<b>15.1%</b>	16.9%	15.4%	13.7%
85歳以上	1,177	1,510	1,942	<b>2,211</b>	2,334	2,281	2,225
率(同)	2.8%	3.8%	5.0%	<b>6.1%</b>	6.9%	7.3%	7.8%
一般世帯数	12,240	12,253	12,240	12,135	11,533	10,826	9,993
世帯当たり人数	3.37	3.20	3.09	<b>2.93</b>	2.87	2.81	2.78
65歳以上単身	538	626	786	<b>1,015</b>	960	949	898
65歳以上夫婦	848	904	1,003	<b>1,201</b>	1,133	1,100	1,028
高齢者のみ世帯	1,386	1,530	1,789	<b>2,216</b>	2,093	2,048	1,926
率(同)	11.3%	12.5%	14.6%	<b>18.3%</b>	18.1%	18.9%	19.3%
三世帯同居	3,592	3,096	2,888	<b>2,402</b>	2,125	1,855	1,646
三世帯同居率	29.3%	25.3%	23.6%	<b>19.8%</b>	18.4%	17.1%	16.5%

14

**人口減少・少子高齢化で暮らしにどんな影響が出てくるのか？**

15



16

これからの地域づくりは、  
今までの延長ではなく  
これからの時代に即した  
**進化**が必要だ！

17

少子高齢化（多老化）の進展

↓  
少子化／現役世代減少 → 税収減  
高齢化（多老化） → 社会保障費増  
さらのインフラの更新による支出増

↓  
行政依存体質の改善が不可欠！

↓  
**住民自治の再構築！**

18

大切なのは  
**自分たちで考え、実行する**  
という**住民自治の再構築！**

行政は確かにこれから大変になる。  
しかし、地域運営組織は、行政の肩代わりをやる組織ではない。

**もともと地域自らでやっていたこと**  
(社会の発展により行政に任せるようになってしまったこと)  
を、**将来に備えて再構築**するための**体制づくり**が真のねらい。

19

これからの時代の地域づくりに求められるのは

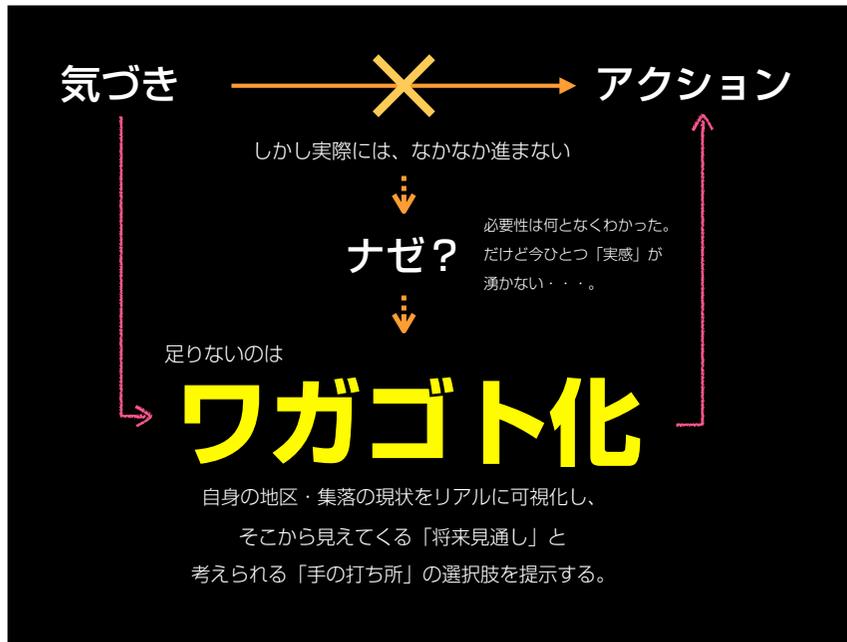
**住民活動**ではなく**住民事業**

**経済**を含めた**住民自治**

**分野横断**による**複数機能**

↓  
**小規模多機能自治**

20



21

- ❶ 冷静に現状を見据え、将来への備えを今から始める。（住民自治の進化が不可欠）
- ❷ 高齢者には、できるだけ長く元気でいてもらう（活躍の場がある）ことは不可欠！
- ❸ **若者世代は少数派。丁寧に意向を聞くということをしないと、多数派（中高齢者層）に埋没してしまう。**

22

足し算ではなく  
**掛け算**で考える

「組み合わせ」から新しい価値が生まれる。

↓

**ついでにやる  
まとめてやる**

23

楽しいこと ≠ **楽しみながら**

単なるイベント・行事よりも  
困りごとを楽しみながら解決できる  
知恵と工夫が求められている！

↓

課題から考えるのも大切だが…

**結果として解決される**  
であってよい。

「瓢箪から駒」は実際に多い！

24



25

最初は妄想でOK

↓

構想を練る 妄想：思いついただけ  
構想：実現の手順もある

↓

まずはやってみる

- しっかりした計画・準備は、本格実施の時でOK！
- 思いついたら、まずは小さな実験をやって既成事実を作ってしまう！

26

進化論を唱えたダーウィンの言葉

この世に生き残る生き物は、  
最も力の強いものか。  
そうではない。  
最も頭のいいものか。  
そうでもない。  
それは、変化に対応できる生き物だ。

27

歩きながら考える

28